

植物ゲノム・遺伝子源解析センター

月例セミナー

とき 平成30年5月1日(火)

16時～17時

ところ 農学部 A302演習室

題目 「花きの枝変わりについて」

講師 農学部准教授 鳴海 貴子 博士

概略

枝変わりとは、一つの腋芽分裂組織で突然変異が生じ、その結果、その一つの枝が本来とは異なる形質を示す現象である。木本類や花きなど、栄養繁殖性の植物ではキメラになっている場合もある。花き園芸植物においては、交配育種だけではなく枝変わりによっても多彩かつ多様な花色をもつ品種が生み出されている。カーネーションでは、1939年に育成された「ウィリアムシム」から、今日までに300以上の品種が枝変わりによって生じており、現在でもシム系カーネーションは育成されている。

今回、花きの枝変わりについて区分キメラや周縁キメラも含め説明しつつ、枝変わりによる花色変異について紹介したいと考えている。